

Istanbul Weekly vol.4-no.35

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2015年9月11日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：ダーヴトオール首相、政党事務所やメディアへの攻撃中止を呼びかけ。
ハツキヤリ県でのテロに政界から強い非難。
- 経済**：8月のトルコの年間物価上昇率、7.14%に上昇。
今年のトルコの経済成長、3%に達する可能性あり＝ユルマズ副首相。
- 治安**：ハツキヤリ県ダールジャで PKK の攻撃で兵士 16 名死亡。ウードウル県では警察官 13 名が PKK の攻撃で死亡。
ISIL 機関誌が「ボスニア、マレーシア、インドネシアの日本外交団を標的」と言及。
- 軍事**：米国が「米軍は、インジルリック基地に必要な期間駐留し続ける」と声明。
シリア側からの発砲で兵士 1 名死亡。
- 社会**：イスタンブール大市、交通事故危険マップを作成。
第 3 大橋、2 大陸が繋がるまで 648 メートル。

政治

●MHP、内閣入りしたトゥルケシュ副首相を除名処分

5日、MHPは、11月1日の早期総選挙に向けた暫定内閣に党として参画しないとの方針に背き、ダーヴトオール首相からの副首相ポストのオファーを受諾したトゥルケシュ前副党首を、除名処分する決定を下した。(9月6日付M紙1面)

●ハツキヤリ県でのテロに政界から強い非難

6日に南東部ハツキヤリ県ダールジャで PKK によるテロ事件によって 16 名が死亡したことを受けて、エルドアン大統領は、ユルマズ国会議長、アカル参謀総長らと治安対策会議を開催するとともに、PKK のテロ行為を強く非難する声明を発表。また、ダーヴトオール首相も、大きな犠牲を払っても、テロとの戦いを今後も遂行すると述べた。野党各党も PKK を強く非難。(9月7日付M紙インターネット版)

●ダーヴトオール首相、政党事務所やメディアへの攻撃中止を呼びかけ

7日、ダーヴトオール首相は、政党事務所やメディアが襲撃される事件の発生を受けて、国民に対し、暴力的な攻撃を止めるよう呼びかけるとともに、政党事務所や新聞社等に対する警備を強化するよう内務省に指示した。(9月8日付H紙インターネット版)

●エルドアン大統領、国民に扇動行為に乗らず、常識ある行動を呼びかけ

8日、エルドアン大統領は、国民に対して、暴力的な扇動行為に挑発されることなく常識ある態度でテロに対峙することを呼びかけると共に、PKK が和平プロセスを終焉させたとして強く非難し、PKK に対しては、これが掃討され

るまで戦いを続けると言明した。(9月8日付H紙インターネット版)

【外交】

●欧州理事会議長のトルコ訪問等

9日、トルコを訪問したトゥスク欧州理事会議長は、エルドアン大統領と会談した後の記者会見において、テロを強く非難。また、欧州評議会は、トルコにおけるテロ行為を非難するとともに、最近発生したデモ隊によるメディア（ヒュリエット紙等）への襲撃に対する懸念を表明した。(9月10日付H紙1面)

経済

【マクロ経済】

●8月のトルコの年間物価上昇率、7.14%に上昇

3日、トルコ統計庁が公表したデータによると、トルコの年間物価上昇率は、7月の6.81%から8月は7.14%に上昇。6、7月に2か月連続で下落した後の上昇となった。主に未加工食品価格の上昇によるもの。Mesa証券のエコノミストであるウムット氏は、トルコリラの最近の急落が生産コストを上昇させるため、価格の急騰自体はノーマルなことであると述べた。8月の月間上昇率が最も大きいのはホテル、カフェ及びレストランの2.05%で、最も下落したのは、衣料品及び履物の-4.32%。年率で物価上昇率が最も大きいのはホテル、カフェ及びレストランの14.26%。(9月4日付HD紙10面)

●今年のトルコの経済成長、3%に達する可能性あり＝ユルマズ副首相

8日、ユルマズ副首相は、トルコリラに打撃を与えた政治的不確実性は、11月選挙後緩和されるだろう、経済成長率

は、政府目標の4%には達しなくとも3%に達する可能性があり、インフレ率は政府予想の5%より高くなるが2016年には下がると見られると述べた。(9月9日付HD紙10面)

●7月の工業生産

統計庁のデータによると、7月の工業生産高は前月比で1.5%減少。前年同月比では0.3%の減少となった。(9月9日付HD紙10面)

【企業の動き】

●メルセデス・ベンツ、トルコへの投資継続

メルセデス・ベンツ・トルコの67%を所有するダイムラーAGのバスグループ社長のシック氏は、トルコリラの変動により同社の投資計画を変更することはないと述べた。メルセデス・ベンツ・トルコは4億300万ユーロをトルコでのバス事業に投資しており、他の分野への投資も合わせると、投資額は8億8500万ユーロ。生産された車両の80%以上がヨーロッパ及び中東へ輸出される。トルコではこれまで7万5000台の同社製バスが生産され、トルコ市場でのシェアは60%、70カ国以上に輸出している。(9月4日付HD紙11面)

●59名の外国人パイロット、ターキッシュエアラインズを退職

ターキッシュエアラインズでは、計59名の外国人パイロットがリラ安を受けて退職した。同社では給与をリラで支払っている。同社によると、退職したパイロットの多くは、ドル払いで給与支払いを行っている外国の航空会社へ転職した。(10日付HD紙11面)

治安

●消防車を先導していた警察車両を地雷攻撃、警察官4名殺害

3日、南東部マルディン県で、PKKが建設中の学校に放火し、駆けつけた消防車を先導していた警察防弾車両の下で地雷が爆発。乗車していた警察官4名が死亡した。(9月4日付HD紙1面)

●PKKが警察署をロケット攻撃

3日、東部エラズー県において、PKKが警察署をRPGロケットで攻撃。警察官3名が負傷した。(9月4日付HD紙1面)

●PKKの攻撃で兵士16名が死亡

6日午後3時半頃、ハッキヤリ県ダールジャにおいてPKKが軍の作戦行動中の車列に対して路肩爆弾で攻撃を実施。さらに約2時間後に救助に駆けつけた車列に対してPKKの路肩爆弾および襲撃が行われ、ダールジャ基地の司令官である中佐を含む16名が死亡、10人以上が重軽傷を負った。今年7月にPKKとの戦闘が始まって以来最大の犠牲者数となった。トルコ空軍は、即座に同地域のPKK拠点に対して空爆を実施した。

(9月7日付HT紙12面)



(写真はHakimiyet インターネット版から)

●PKKの攻撃で警察特殊部隊員2名死亡

6日午前6時頃、ディヤルバクル県スル郡において、PKKが路上に掘った穴を埋め戻す作業をしていた警察特殊部隊員に対して、PKKがRPGロケットによる攻撃を行い、特殊部隊員2名が死亡。スルは外出禁止令が出ている。(9月7日付HT紙13面)

●スルチ事件以降治安当局側の死者は76名に

6日、ダールジャで16名の兵士が死亡したことにより、7月20日のスルチでの大規模テロ事件以降、軍・警察を併せた治安当局側の犠牲者の総数は76名となった。(9月7日付HT紙13面)

●ヒュリエット紙本社 AKP 支持者等に襲撃される

6日、エルドアン大統領が出演したテレビ番組でコメンテーターが「ヒュリエット紙はテロと戦うエルドアン大統領の足を引っ張っている。」「ヒュリエット社の前で抗議デモを行うべき」等と発言。同発言後、イスタンブール市バージュラルに所在するヒュリエット紙本社前にAKP支持者等200名が集まり、一部が暴徒化し、同本社ビルの窓ガラスを割り、室内に侵入して備品を荒らすなどした。同抗議グループは、AKP国会議員とAKP青年組織のリーダーが先導していた。

(9月7日付HT紙13面)



(写真：9月7日付HD紙インターネット版)

●エルドアン大統領「ISILよりPKKが脅威」「PYDはテロ組織」と明言

6日、エルドアン大統領はCNNトルコのインタビューに答え、「トルコにとってはPKKが最大の脅威である。ISILも脅威であるが国内問題ではない。」と述べた。また「我々は、PKKとISILと戦うと同時に、DHKP/CやPYD(シリア北部を支配するクルド系勢力)もテロ組織であり、この全てと戦っている」と発言し、米国等が対ISIL作戦で強力に支援するPYDをテロ組織と明言した。(9月7日付HD紙3面)

●各地で反戦デモ広がる

イズミル県、ブルサ県、マニサ県、メルシン県、アダナ県、ヨズガット県、バルックエシル県等各県で反戦デモが広がっている。(9月7日付HT紙13面)

●PKKの攻撃で警察官13名が死亡

8日、東部ウードウル県で移動中の警察用のバスに対して路肩爆弾攻撃があり、乗車していた警察官13人が死亡した。同バスは、警察官をアゼルバイジャンとの国境ゲートに移送中であつた。(9月9日付HD紙1面)



(写真は9月9日付BBC インターネット版から)

●各地のHDP事務所が愛国主義者等に攻撃される

7日、PKKによる大規模攻撃で治安部隊に多くの死者が出ていることを受けて、アンカラ、アンタルヤ、イスタンブー

ル市内ウスキュダル、バージュラル、キヤーウトハネのHDP事務所が投石等の攻撃を受けた。また、8日夜にはアンカラのHDP本部が数十名の極右・愛国主義者に投石等で襲撃され室内を荒らされた。HDP本部は「我々は今襲撃を受けているが警察が適切な警備をしない」とツイッターで襲撃中にコメントを出した。

(9月9日AFPニュースインターネット版)



(写真はHDP アンカラ本部：BBC インターネット版から)

●ディヤルバクルから南東部へのバスが抗議の一日運休

9日、ディヤルバクル県のバスターミナルから南東部各地を結ぶ長距離路線バスを運行するバス会社約30社が、南東部の治安悪化と乗客数の減少に抗議するため、1日間のみ、全バスの運休を発表した。(9月9日付HT紙9面)

●PKKの路肩爆弾で警察官1人死亡

8日、マルディン県のダールゲチルで、走行中の警察車両の横で路肩爆弾が爆発し、乗車していた警察官の内1名が死亡、3名が負傷した。(9月9日付HT紙14面)

●非番の警察特殊部隊員が娘の前でPKKに殺される

8日、トゥンジェリ県で非番の日に娘の婚約式から帰る途中の警察特殊部隊員が、PKKによる検問を突破しようとした際、PKKから銃撃され死亡した。娘は軽傷を負った。(9月9日付HT紙15面)

●ヒュリエット本社また襲撃される

8日午後8時、イスタンブール大市バージュラル市に所在するヒュリエット紙の本社前に100名の抗議者が集まり、機動隊の小隊の配備を突破して敷地内に侵入し、ガラスに投石するなどの暴力行為を行った。

ヒュリエット社の代表は「民主社会では、政府は安全を提供すべきだと声明」、ダーヴトオール首相は「メディアや政党への暴力は受け入れられない。」とコメント。米国、英国の政府も、メディアへの攻撃を非難した。(9月10日付H紙1面)

●ISIL機関誌が「ボスニア、マレーシア、インドネシアの日本外交団を標的」と言及

ISILの機関誌「ダーヴィク(DABIQ)」の最新号は、ISIL支配地域への渡航ができないISILシンパに対して、「世界中のISILの敵への攻撃」を呼びかけ、例として17の攻撃対象を挙げる中で、「ボスニア、マレーシア、インドネシアの日本外交団」と言及。一方、で、トルコ国内での攻撃への言及は無し。PKKとペシュメルガ(イラクのクルド人部隊)については標的として言及するも、「米国、欧州におけるPKK、ペシュメルガ」関連組織等を標的にするよう求めるもので、トルコ国内のPKK等への言及は無し。



(ISIL機関誌「ダーヴィク」(11号))

軍事

●米国が「米軍は、インジリック基地に必要な期間駐留し続ける」と声明。

2日、駐米トルコ大使は、CNNトルコのインタビューに答え「米軍はISILとの戦いで必要がある限り、トルコに駐留し続ける。ISILを弱体化させ、究極的には壊滅するまでだ。」と述べた。(9月3日付HD紙1面)

●トルコ空軍戦闘機がPKKを空爆

7日、トルコ参謀本部は、トルコ空軍のF16戦闘機35機、F4戦闘機18機がイラク国内のPKKの本拠であるカンディル山等7つのキャンプの20か所の標的を空爆し、35人のPKKテロリストを殺害した旨発表。(9月8日付H紙インターネット版)

●ハタイ県でシリア側からの射撃で兵士1人死亡

10日早朝、ハタイ県レインハル郡のシリア国境で警戒に当たっていた兵士に対して銃撃があり21歳の兵士1人が死亡。軍は交戦規定に基づきシリア側発砲地点付近に、直ちに応射を実施した。ハタイ県知事発表によると、レインハイルのシリア側は、自由シリア軍の支配地域となるため、今回の攻撃はISILとは無関係で、密輸組織による銃撃との見方を示した。

(9月10日付TZ紙インターネット版)



(写真：死亡兵士の出身地イズミルで行われた葬儀：TZ紙インターネット版から)

社会

●イスタンブール大市、交通事故危険マップを作成

イスタンブール大市交通局は、交通事故を防ぎ、死傷者を減少させる目的で、事故が頻発しているポイントを明らかにして、「危険マップ」を作成する。このプロジェクトでは、一年間かけて、交通監視カメラの記録から、事故多発ポイント、原因等を調査し、事故が頻発する危険な道路や交差点に、新たに整備が必要な箇所を特定したり、警告システムを構築するための報告書を作成する予定。(9月4日付HT紙21面)

●第3大橋、2大陸が繋がるまで648メートル

30億ドルの建設費をかけて2013年に建設が始まった第3大橋プロジェクトは、橋を繋ぐメインケーブルの敷設が開始され、橋がライトで点灯されるとボスポラス海峡には真珠のように光が繋がった。一方で、橋の道路部分については橋桁の敷設工事が継続されており、2大陸が繋がるまで残すところ648メートルとなった。(9月7日付HT紙21面)



(写真は9月6日付TZ紙インターネット版から)

●イスタンブールの2空港、旅客増加率1位

ヨーロッパ国際空港評議会（ACI）が発行した2015年7月の報告書によると、年間利用旅客許容数に応じて4カテゴリーに分類した場合、旅客数の増加率が最も高い空港としてアタテュルク空港とサビハギョクチェン空港がランクインした。アタテュルク空港は2500万人以上の許容旅客数を持つ空港の中で16.9%の増加率で第一位となり、マドリードが13.1%、アムステルダムが8.4%、フランクフルトが6.6%、ロンドンが6.4%と続いた。サビハギョクチェン空港は許容旅客数1000~2500万人のカテゴリーで28.5%の増加率で、25.7%のアンカラエセンボア空港が続いた。（9月8日付HT紙10面）

●ゴミを資源に活用

イスタンブールのヨーロッパ側とアジア側から、ゴミ収集車で収集された1日あたり約1万7000トンのゴミが施設に集積され、電力や肥料及びに燃料などに再利用されている。イスタンブール市内のゴミから、年間3億4000万キロワットの電力エネルギーが作られており、およそ80万世帯分（トラブゾン地区の世帯数に匹敵）の電力に相当する。（9月10日付HT紙23面）

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İŞİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜVİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【イスタンブール県及び近郊県内邦人被害統計】

イスタンブール邦人被害統計								
2014.1.1～2015.9.10 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー(相談)		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2014年		2件		4件		33件		5件
2015年	0件	4件	0件	2件	0件	12件	0件	6件

●今週は、被害の届出はありませんでした。

★当館HP更新のお知らせ★

- 本年9月、和太鼓グループ「鬼太鼓座」がトルコで初公演決定！
- 『海外安全対策セミナー』のご案内(09/07) NEW
- 危険情報(トルコ)(09/01) NEW